

学校法人 駿河台大学  
中期計画  
グランドデザイン

2026





### 建学の精神「愛情教育」

「愛情教育」に基づき、埼玉県西部の地域社会に根ざした大学として「ひとりひとりの学生をありのままにみつめ、ひとりひとりの夢とその歩みを支え、自立へと促す教育」を実践します。

## 「学校法人駿河台大学中期計画（グランドデザイン2026）」 策定の趣旨

現在、日本の私立大学は18歳人口が減少する中、定員割れとなった大学が4割を超えるなど厳しい経営環境の下に置かれています。2021年度の私立大学全体の定員充足率は、ついに100%を下回りました。一方において、大学には、AI・データサイエンス等の基礎的な素養を持ち、専門分野に加えて幅広い教養を身につけ、高い公共性・倫理性を保持しつつ、社会を支え、改善していく資質を有する人材の育成が求められています。そのため、大学は自らの責任において教育・研究活動の水準が適切なものであることを保証するべく、恒常的かつ継続的に質の向上を図る必要があります、その前提となるのは、安定した大学の運営基盤の確立となります。

第3期認証評価において、大学基準に「適合」とされた本学は、激しい社会的変化を踏まえ、これまでのグランドデザインの検証から明らかになった諸課題を点検し、従来の「駿河台大学中・長期財政計画」も組み込みつつ新たな目標と課題を示した「学校法人駿河台大学中期計画（グランドデザイン2026）」（以下グランドデザイン2026と表記）を策定し、駿河台大学第一幼稚園を含む学校法人駿河台大学として、「教育の質の向上」に一丸となって取り組むこととしました。折しも今回のグランドデザインの完成年度は本学の建学から40周年に当たります。このグランドデザイン2026を基点に、本学の教育、研究、社会連携・社会貢献、大学運営・財務などに関する課題の設定と実行、そしてその成果の検証、更にそれを踏まえた改善を積み重ねて、本学のミッションを果たすこととします。

## グランドデザイン 2026 の目標

### 駿大ブランドの更なる発展に向けて

駿河台大学のミッションを果たすためには、何よりも「教育の質の向上」を図る必要があります。それを行うためには、大学運営・財務に関する基盤の充実が不可欠となり、そのためには重点目標の「入学定員の確保、収容定員の充足」、「中途退学者の減少」、「高い就職率の維持」という3つの課題を克服し続けなければなりません。本学は、「教育力」、「就業力」、「学生支援力」、「地域力」、「研究力」という5つの力を拡充することを通じて駿大ブランドの更なる発展に向けて構築・強化を図り、教職協働によりこうした課題を克服していきます。

これら5つの力を伸ばすための活動に着実に取り組み、本学に対する高校生、教育関係者、地域社会の方々をはじめとするステークホルダーからの信頼を高め、これをもって志願者増に繋げて、中長期にわたる大学の安定的な運営基盤を強化し、本学のミッションを果たすことをグランドデザイン2026の目標とします。

学校法人駿河台大学中期計画（グランドデザイン2026）－駿大ブランドの更なる発展に向けて－ 5年間（2022～2026年度）の計画

建学の精神「愛情教育」

「愛情教育」に基づき、埼玉県西部の地域社会に根ざした大学として「ひとりひとりの学生をありのままにみつめ、ひとりひとりの夢とその歩みを支援し、自立へと促す教育」を実践します。

駿河台大学 目指す大学像 個性と夢を尊重し、ともに歩む大学

3つの重点目標

- 入学定員の確保、収容人数の充足
- 中途退学者の減少
- 高い就職率の維持

ミッション

- 地域の中核的人材の育成
- 地域の発展への貢献
- 地域の活性化への貢献



学生募集力の強化

3つのビジョン

駿河台大学第一幼稚園 目指す教育 心もからだもじょうぶな子・くふうしてよく考える子・思いやりのあるやさしい子

ミッション

- ひとりひとりにふさわしい教育の展開
- 新しい時代に求められる資質・能力・障害の学びを支える力を育む
- 保護者・地域の人々に求められ 選ばれる幼稚園運営の実践

3つのビジョン

- ◆ 教育目標の具現化を図り、質の高い教育の推進
- ◆ 保護者や地域から求められ、選ばれる幼稚園運営の促進
- ◆ 地域と共にある幼稚園の構築

管理・運営ガバナンス

ガバナンスの推進  
3つのビジョン

財源確保  
2つのビジョン

人事計画・組織改革  
2つのビジョン

教育研究等の整備  
2つのビジョン

教 職 協 働

教育の質の向上



在園児・在学生

保護者

卒園・卒業・修了生

幼児・高校生等

教育関係者

地域社会

信頼

初等・高等  
教育を  
取り巻く  
環境・諸課題

幼 齢 ・ 1 8 歳  
人 口 の 減 少

Society  
5.0 の 推 進

学 修 者 本 位 の  
教 育 へ の 転 換

多 様 性 と  
柔 軟 性 の 確 保

「学 び」の 質  
保 証 の 再 構 築

幼 保 一 元  
化 の 政 策

等

# 駿河台大学

## 駿河台大学のミッション(目的)

本学は、建学の精神である「愛情教育」に基づき、埼玉県西部の地域社会に根ざした大学として、以下のミッションを果たします。

### 地域の中核的人材の育成

本学は、グローバル化の著しい現代社会における地域社会の諸活動の中で中核的役割を担う人材を育成することによって、高等教育機関としての責務を果たします。



### 地域の発展への貢献

本学は、地域社会の諸課題を調査研究し、その成果を還元することにより、地域社会の発展に貢献します。



### 地域の活性化への貢献

本学は、地域の知の核として、地域に学びの機会を提供することにより、地域社会の活性化に貢献します。



## ミッションを果たすための駿大ブランドの構築・強化

### 駿河台大学が目指す大学像

## 個性と夢を尊重し、ともに歩む大学

本学は、ミッションを果たすために、本学が培ってきた「強み」を活かし、現在の教育活動、研究活動、地域貢献活動を更に発展させ、駿大ブランド5つの力を構築・強化します。

1

### 「教育力」の駿河台大学

ひとりひとりの学びに応じた教育の実践ときめ細かい教育

駿台予備学校を始めとする学校法人駿河台学園が永年にわたり形成してきた教育理念、教育情報、教育方法等を活用し、ひとりひとりの個性と学びに応じた、「きめ細かい」教育を行います。

2

### 「就業力」の駿河台大学

高い就職希望率と就職率の実現

教職員が一体となった、目配りの行き届いた就職活動支援により、学生ひとりひとりの個性と意向にあった就職を実現します。

3

### 「学生支援力」の駿河台大学

ひとりひとりが輝き続ける学生の高い満足度とダイバーシティの実現

明るく美しいキャンパスで、学生が自己肯定感をもって学習し、学生生活に打ち込めるよう、学生の主体的な活動を支援し、学生の居場所を充実し、経済的支援を行います。

4

### 「地域力」の駿河台大学

地域との協働・共生

「地域を学ぶ」、「地域で学ぶ」、「地域から学ぶ」、をテーマに、自治体や企業、団体、市民の協力を得て実践的な教育を行い、「駿河台大学社会人基礎力」を身につけます。あわせて、生涯教育の機会提供により地域貢献に努めます。

5

### 「研究力」の駿河台大学

研究活動の進化と深化

教員の持つ高度の専門性を活かし、優れた研究成果を地域社会に還元します。

6

### 学生募集力の強化

新たな価値をひとりひとりが創出できる大学

駿大ブランドをもって「教育の質の向上」を図り、高校生、教育関係者、地域社会の信頼を高めることにより、駿河台大学での学びを希望する志願者を増やします。

駿大ブランドの構築・強化のための具体的な取組

## 「教育力」の駿河台大学

1 ひとりひとりの学びに応じた教育の実践ときめ細かい教育

8つのビジョン

22のアクション

### ビジョン（目標） (1) 新カリキュラムに基づく教育の実施

- 2021カリキュラムの適切な実施を通じて教育目標の実現を図るとともにPDCAサイクルに基づく教育改善や社会の変化等を見据えた検証を行う

#### アクション（計画）

- ① 教育目標の実現に向けた、2021年度施行の新カリキュラムに基づく教育の実施
- ② PDCAサイクルによるカリキュラムの適切性の点検評価による教育改善
- ③ 社会の変化や次期中期計画を見据えたカリキュラムの検証

### ビジョン（目標） (2) 教育の質保証の推進

- 3ポリシーに基づく教育の実践、教育の質保証、教育活動の質的向上に向けた教育改善の実施を通じて、「愛情教育」の理念の実践を図る

#### アクション（計画）

- ① 学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）、教育課程編成方針（カリキュラム・ポリシー）、学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）に基づく教育の実践
- ② 教育の質保証、教育活動の質的向上に向けた、組織的な教育改善の実践
- ③ 個々の授業の教育成果を図る指標や方法の開発・普及による、各授業における目標に沿った成果の検証

### ビジョン（目標）

#### (3) 「駿大メソッド」による基礎力の育成

- 教育方法の検討、実施を通じて、学生ひとりひとりがディプロマ・ポリシーに定めた知識・能力・技能を身につけられるよう「駿大メソッド」を整備する

#### アクション（計画）

- ① 2021年度に改定した「駿大社会人基礎力」Ver.2に定めた能力の育成
- ② 各学部・研究科で定める専門的知識・技能の活用力の育成
- ③ 学生が主体的に学び、幅広い教養、社会人基礎力及び専門基礎学力を習得するのに適した教育方法の検討、実施

### ビジョン（目標）

#### (4) 教学DX（デジタルトランスフォーメーション）の検討、推進

- コロナ禍の経験や知見を踏まえポストコロナを見据えた多様な授業形態を検討するとともにLMS（学習管理システム）に基づき、ひとりひとりの学びに応じた、個別の教育成果の把握や指導、学習支援を行う
- 時代のニーズに応じた授業及び研究支援を図るため、ICT環境の整備やパソコン必携化（BYOD）に向けたサービスの転換を行う
- 学生、教職員向けの情報セキュリティ対策リーフレットを作成し、情報セキュリティインシデント（事故・事件）発生時のマニュアルを整備する

#### アクション（計画）

- ① ポストコロナを見据えた多様な授業形態（オンライン教育を含む）の検討・提供及び環境整備
- ② LMS（学習管理システム）に基づく、個別の教育成果の把握、指導、学習支援
- ③ 教育改革に合わせたICT環境の整備及び教員の運用支援
- ④ パソコン必携化（BYOD）に向けたサービスの転換
- ⑤ 情報セキュリティの強化とインターネットトラブル防止啓蒙活動を行い、教育研究環境における安全性を担保する

**ビジョン（目標）** (5) グローバル教育の推進

- 学生の異文化理解を促進し、国際交流に寄与する人材を育成する
- 外国語各種検定試験受験者…6言語80名

**アクション（計画）**

- ① 外国語を通してコミュニケーション能力、表現力の育成を図る

**ビジョン（目標）** (6) 大学院研究科組織の点検

- 大学院における人材育成に対応した大学院組織のあり方を検討し整備する

**アクション（計画）**

- ① 大学院における人材育成に対応した大学院組織のあり方の検討

**ビジョン（目標）** (7) 学修者本位の教育を支援する環境の整備

- ラーニングcommonsの改修により、多様な学習スタイルの場を提供する
- 電子書籍の所蔵数を増やし利用促進を図る
- 資料の電子化推進や計画的な除籍処理により書架狭隘化の解消につなげる

**アクション（計画）**

- ① ラーニングcommons（総合的な自主学習のための環境）の整備
- ② 電子書籍のサービス拡充と購入の推進
- ③ 雑誌及び紀要の電子化推進
- ④ 利用環境の良好な書架整備

**ビジョン（目標）** (8) Society5.0に向けた数理・データサイエンス・AI教育の推進

- 2025年度までにすべての学生が「リテラシーレベル」の能力を身につけるよう教育体制を整備する

**アクション（計画）**

- ① 2025年度までにすべての学生が「リテラシーレベル」の能力を身につけるような教育体制の整備
- ② 学部における専門教育に即した学修を経験できる教育体制の整備

## 「就業力」の駿河台大学

# 2

高い就職希望率と就職率の実現

4つのビジョン

8つのアクション

### ビジョン（目標） (1) キャリア教育の充実

- 自律的キャリア意識を持つ 70%（現状45%）
- 大手企業就職 100名

#### アクション（計画）

- ① 自律的なキャリア形成力の向上
- ② 大手企業就業者の増加

### ビジョン（目標） (2) 就職活動支援の強化

- 埼玉県発表の新規大学等卒業生就職率を上回る
- 就職希望率90%超

#### アクション（計画）

- ① 3年次ゼミ訪問と個別面談の実施
- ② 就職支援行事の充実

### ビジョン（目標） (3) 資格試験、公務員試験受験指導の推進

- キャリアカレッジ：受講者150名、受験者120名、合格者80名
- 公務員：合格者70名、決定者60名  
警察官就職者数全国ランキング50位内（20名程度）の達成・維持

#### アクション（計画）

- ① キャリアカレッジ対象資格を中心とする資格試験合格者の増加
- ② 公務員試験合格者、決定者の増加

### ビジョン（目標） (4) 留学生の就職支援の強化

- 国の目指す留学生卒業生に対する就職率目標値（2021年5月現在50%）を上回る
- 教育（授業）と就職支援行事の連携強化
- 部署間・教員・学外組織との連携強化

#### アクション（計画）

- ① 国の目標を上回る留学生就職率の確保
- ② 留学生就職活動意欲向上のための意識醸成の強化

## 「学生支援力」の駿河台大学

3

ひとりひとりが輝き続ける  
学生の高い満足度とダイバーシティの実現

5つのビジョン

11のアクション

### ビジョン（目標） (1) 学生の主体的活動の支援（学生間交流機会の創出）

- 多種多様な活動に対する支援により、学業以外でのキャンパスライフの満足度向上を図る（満足度調査実施）

#### アクション（計画）

- ① 学生による自主的なイベントや企画実施、課外活動（サークル等）での活躍に対して積極的な奨励
- ② 多様な学生間交流が図れるイベント・企画などの実施

### ビジョン（目標） (2) アスリート支援の充実

- 競技力向上、駿大スポーツブランド力の向上を図る

#### アクション（計画）

- ① 在学生、卒業生、教職員による駿大スポーツへの応援の輪が広がる仕組みづくりの推進
- ② スポーツ実践を通じた、本学のアイデンティティの形成とパブリシティの推進
- ③ スポーツを通じて地域コミュニティの形成と発展に寄与し、地域社会の健康で豊かなコミュニティ作りへの貢献

### ビジョン（目標） (3) 中途退学者の減少

- 中途退学率：2026年度までに大学全体3%以内、1年次以内退学率2%以内にする

#### アクション（計画）

- ① 教職協働による中途退学防止に向けた取組（学生対応力向上など）の推進
- ② 経済支援の充実（家計急変者への対応、相談体制の充実も含む）により、経済事由による修学継続困難学生の抑制
- ③ 早期退学防止の観点から、入学前及び入学当初の支援プログラム内容の充実や高校時情報の活用

### ビジョン（目標） (4) 学生の個性（多様性）に応じた適切な支援

- 支援を必要とする学生が利用（相談）しやすい環境づくりを行い、利用（相談）学生の状況改善を図る

#### アクション（計画）

- ① 学生の個々の状況に応じた、きめ細やかな支援が行える総合的なサポート体制の整備
- ② 学習支援に関する相談体制の強化

### ビジョン（目標） (5) 国際交流の推進

- 学生の異文化理解を促進し、国際交流に寄与する人材を育成する

#### アクション（計画）

- ① 留学生を中心とした交流の推進



# 4

## 「地域力」の駿河台大学

地域との協働・共生

4つのビジョン

6つのアクション

### ビジョン（目標） (1) 自治体・企業等と連携した学生の学びの場づくり

- 地域の教育力を活かして、実践的なプログラムを学生に提供する

#### アクション（計画）

- ① 正課授業としての教育的インターンシップの運営
- ② 「まちを元気に、まちで元気にプロジェクト」の再構築

### ビジョン（目標） (2) 地元住民の学びへの貢献

- 本学の資源を幅広い年代への教育支援に活用することで、地域の教育拠点の一つとなる

#### アクション（計画）

- ① 生涯学習の機会の提供
- ② 初等中等教育の支援

### ビジョン（目標） (3) 地域プラットフォーム事業等の展開

- 産学官金の連携プラットフォームの構築、活用により地域課題の解決等に取り組む

#### アクション（計画）

- ① プラットフォームによる地域課題の解決等の推進

### ビジョン（目標） (4) 高大連携授業の充実

- 高校生がさまざまな学びを経験することができるような授業の実施を通じて、地域の高校との連携を図る

#### アクション（計画）

- ① 連携先高校の意向を踏まえ、高校生がさまざまな学びを経験することができるような高大連携の充実

# 5

## 「研究力」の駿河台大学

研究活動の進化と深化

2つのビジョン

7つのアクション

### ビジョン（目標） (1) 研究環境の改善

- 研究環境の改善に伴う研究活動の活発化を図る
- 研究業績評価制度の改善及び同制度を活用した研究活動の活性化を図る
- 研究業績の積極的な情報公開の仕組み作りに基づく研究活動の活性化を図る

### アクション（計画）

- ① 研究倫理審査に係る簡易審査方法の確立
- ② 従前の3段階評価システムに異なる要素を加えた研究費制度による研究支援の実施
- ③ 外部の競争的資金獲得の支援制度の確立（例：申請書に関する教員個人相談会等）

### ビジョン（目標） (2) 研究の推進と還元

- 社会のニーズに貢献できる研究を推進・支援し、その成果物を多様な方法で還元することで、研究と社会貢献の好循環を図る

### アクション（計画）

- ① 学内外における研究活動情報の共有
- ② 補助金採択件数の増加
- ③ 研究成果の可視化
- ④ 地域に関する研究の推進



## 学生募集力の強化

6 新たな価値をひとりひとりが創出できる大学

3つのビジョン

10のアクション

### ビジョン（目標） (1) 学生募集に資する駿大ブランドの情報発信

- 安定した志願者確保による入学定員及び収容定員の充足を図る

#### アクション（計画）

- ① 駿河台大学憲章の理念を基軸にした学生募集広報の発信
- ② 外国人留学生及びスポーツ系学生の募集広報の充実
- ③ ステークホルダーとの「対面型」広報と媒体広報による広報活動の推進
- ④ 主として近隣地域に注力した広報活動の推進
- ⑤ 学生募集に繋がる企画の充実
- ⑥ データ分析を基調とした入学者選抜制度の検討と改善

### ビジョン（目標） (2) 2025新課程への対応

- 入学定員及び収容定員の充足により安定的な財政基盤を確立する

#### アクション（計画）

- ① 学習指導要領の改訂及び「大学入学者選抜実施要領」の見直し予告に応じた入学者選抜制度の策定と実施
- ② 高校生の進路選択志向に即した入学者選抜の多様化や評価制度の多元化の検討

### ビジョン（目標） (3) 大学院広報の促進と入学定員の充足率向上

- 学内外に向けた積極的な広報活動を展開し、入学定員及び収容定員の充足を図る
- 進学意欲の高い学内学部生に対し、試験対策指導を行い、学内進学者の増加を図る

#### アクション（計画）

- ① 学生募集に繋がる広報活動の活性化と学内進学者の促進
- ② 学内進学希望者に対する試験対策の体制整備

## 駿河台大学第一幼稚園

### 駿河台大学第一幼稚園のミッション

教育理念「愛情教育」のもと、ひとりひとりにふさわしい教育を展開し、新しい時代に求められる資質・能力や生涯の学びを支える力を育むとともに、保護者や地域の人々に求められ選ばれる幼稚園運営を実践する

3つのビジョン

15のアクション

#### ビジョン（目標） (1) 教育目標の具現化を図り、質の高い教育の推進

- 教育目標の実施を図り、指導計画を改善・整備する

#### アクション（計画）

- ① 主体的に取り組む幼児の育成に向けた指導の充実
- ② 「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」に向けた教育計画の充実
- ③ しなやかでたくましい心や身体をもつ子どもの育成
- ④ 身近な環境に興味関心を示し、工夫しよく考える子どもの育成
- ⑤ 自己肯定感を抱き、他者への思いやりをもつやさしい子どもの育成

#### ビジョン（目標） (2) 保護者や地域から求められ、選ばれる幼稚園運営の促進

- 本園の良さや子どもの育ちが周知され、保護者の80%以上から「十分に達成されている」「達成されている」の評価を得る

#### アクション（計画）

- ① 共に学び合い、高め合う教職員組織の強化
- ② 教育内容をより向上させるための環境維持・改善
- ③ 教職員ひとりひとりが組織の一員として園運営にあたる協働意識の醸成
- ④ 職務の効率化に向けたICTの活用、会議等運営の見直し
- ⑤ 新しい時代に求められる幼稚園経営の検討
- ⑥ 安全・安心・安定して過ごせる教育環境の点検・充実

#### ビジョン（目標） (3) 地域と共にある幼稚園の構築

- 地域の教育力活用を促進したことでの育ちを検証する

#### アクション（計画）

- ① 教育内容や園生活についての情報発信・広報活動の推進
- ② 幼稚園と家庭が共に幼児を育てていく関係の構築
- ③ 地域施設の活用や地域との触れ合いなど、園外環境活用・連携の推進
- ④ 社会の変化に対応した子育て支援の充実

## 管理・運営ガバナンス

### 1 ガバナンスの推進

3つのビジョン

7つのアクション

#### ビジョン(目標) (1) 内部質保証「文化」の定着

- 内部質保証システムの実質化・機能化(内部質保証文化の定着)を図る

#### アクション(計画)

- ① 教員評価制度の発展(例:「広義の処遇」等)
- ② 外部評価の導入(例:メディアセンター、3ポリシー等)
- ③ EBPM(Evidence-based Policy Making)文化の醸成

#### ビジョン(目標) (2) 適切な情報公開と広報活動

- 法令等「情報の公開」を行い、公的な教育機関として社会に対する説明責任等を果たす

#### アクション(計画)

- ① ホームページ・SNSを利用した広報展開による駿大ブランドの向上
- ② 情報公開による透明性の向上と本学理解の促進
- ③ 教育・研究資源の活用によるブランド力の向上

#### ビジョン(目標) (3) 大学環境の特色を生かしたSDGsの推進

- 授業・研究・課外活動等を通じた持続可能な社会づくりへの貢献を行う

#### アクション(計画)

- ① SDGsの教育研究の取組に関する情報の発信

## 2 財源確保・予算編成

2つのビジョン

8つのアクション

### ビジョン（目標） (1) 外部資金の獲得

- 補助金・科学研究費補助金・受託研究費等の競争的資金獲得に向けた取組を支援し、寄付金等の外部資金獲得増加を図る
- スポーツ科学部の完成年度を見据えて、教育の質の更なる向上、教育研究環境等の維持・整備に向けて適切な学費等納付金の改正を図る

### アクション（計画）

- ① 補助金獲得に向けた取組の支援
- ② 寄付金等の獲得の増加
- ③ 教育の質向上、教育研究環境等の整備に向けた適切な学費等納付金の改正

### ビジョン（目標） (2) 積立率改善に向けた予算編成方針の作成及び 予算編成方針に基づく、効果的な予算配分の実施

- 中期の収支見通しによる収支バランスを踏まえて、収入規模に応じた経費抑制と基本金組入前収支差額比率5%以上の維持、積立率改善に向けた毎年度の予算編成方針を定める
- 予算編成方針に基づき、経費の肥大化を抑制しつつ財政基盤確立のための目標達成に向けて効果的な予算配分を行い、併せて教育研究経費比率35%以上を維持する

### アクション（計画）

- ① 収入規模に応じた経費抑制策の検討及び予算編成方針への反映
- ② 施設整備中長期計画による整備計画予算の検討・実行及び毎年度の見直し
- ③ 予算の有効活用を念頭に予算規模に応じた予算編成・予算配分の検討と実行及び見直し
- ④ 予算編成の取組及び厳格な予算執行により事業活動収支における安定的な収入超過の維持
- ⑤ 将来の設備計画に向けた第2号基本金組入計画の検討

## 3 人事計画・組織改革

2つのビジョン

5つのアクション

### ビジョン（目標） (1) 永続的な大学運営のための組織編制

- 学部・センター教員組織及び事務組織の編制を検討することで、永続的な大学運営のための適切な組織とし、安定的な財政基盤を確立する
- 公的な教育機関として社会に対し健全かつ透明性のある学校運営を行う

### アクション（計画）

- ① 永続的な大学運営のための教員組織編制及び事務組織編成の検討
- ② 事業計画・中期計画等に基づく継続的な管理運営の推進

### ビジョン（目標） (2) 大学運営を安定させるための人事計画

- 教職員のFD・SDの取組等を通じて学生の成長を促す人材の育成を行い、学生確保につなげ、安定的な財政基盤を確立する

### アクション（計画）

- ① FD・SDの取組を通じた教職員の資質向上
- ② 学生の成長を促す人材の育成
- ③ 社会のニーズに即した人事制度の整備

## 4 教育研究等の整備

2つのビジョン

7つのアクション

### ビジョン（目標） (1) 施設整備の計画的な推進

- 必要性、有効性、優先度等を踏まえた施設設備の改修・更新計画を作成し、毎年度更新する
- 学生の居場所づくりとしての環境（食堂・ラウンジ・ホール等）、衛生的な環境（トイレ、パウダールーム、シャワー室、ロッカー室等）の改善、防災及びバリアフリーにも配慮した施設に充実させる

### アクション（計画）

- ① 施設設備の改修・更新等を計画的に実施するための整備計画の作成
- ② 学生の居場所づくり・環境（食堂・ラウンジ・ホール等）の改善・充実支援
- ③ 衛生的な環境（トイレ・パウダールーム・シャワー室・ロッカー室等）の整備・改善支援
- ④ 防災及びバリアフリーにも配慮した施設の整備・充実支援
- ⑤ 施設整備計画に基づく予算への反映

### ビジョン（目標） (2) 施設整備の運用管理

- 既存施設・設備の適切な管理・保全に努め安全・安心な教育研究環境の維持を図り、併せて経費節減の対策を講じる

### アクション（計画）

- ① 施設設備の適切な管理・保全の実施
- ② 経費節減に向けた取組の実施



